

なごや子どもの けんりじょうれい 権利条例



すべての子どもがしあわせになるように、
なごやし
名古屋市もおとなも
子どものみんなにやくそくします。

なごや子どもの権利条例



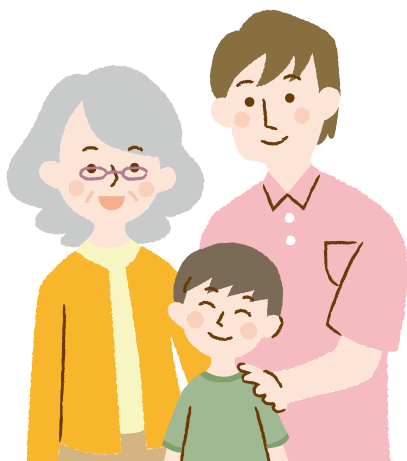
(キッズコーナー)

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

すべての子どもには

子どもの「けんり」とは、子どもがしあわせになるために 守られるものです。

😊 あんぜんにあんしんして生きるけんり



- まわりから あいされて そだてられます。
- あんしんして すごす ばしょがあります。
- いのちが 守られます。
- 一人一人の せいちょうに合わせた生活ができます。

- いじめや ぼうりょくなどから 守られます。
- こまったことや つらいことが あったら、たすけてもらえます。



- びょうきのときは、おいしゃさんに みてもらえます。



- どんな理由があっても、なかまはずれにされません。

「けんり」があります

子どもは、生まれたときから ひとりのにんげんとして大切にされ、自由に生きることができます。

😊 ひとりひとりが大切にされるけんり



- 自由にかんがえ、ひょうげんできます。
- ありのままのあなたが大切にされます。

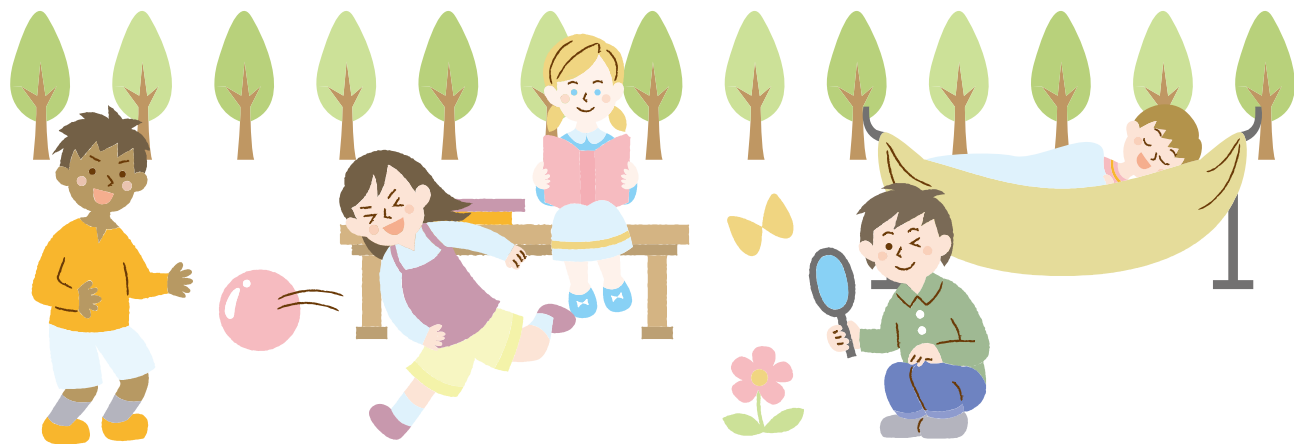


- 自分のことで、人にしられたくないときには、それが守られます。



- まわりのひとから みとめられ、たよりにされます。
- 自分の もっている力を 出すことができます。

😊 のびのびとゆたかにそだつけんり



- あそぶことができます。
- ^{まな}学ぶことができます。
- ^{やす}ゆっくり休むことができます。
- しぜんとふれあうことができます。
- いろいろな^{ひと}人とふれあうことができます。



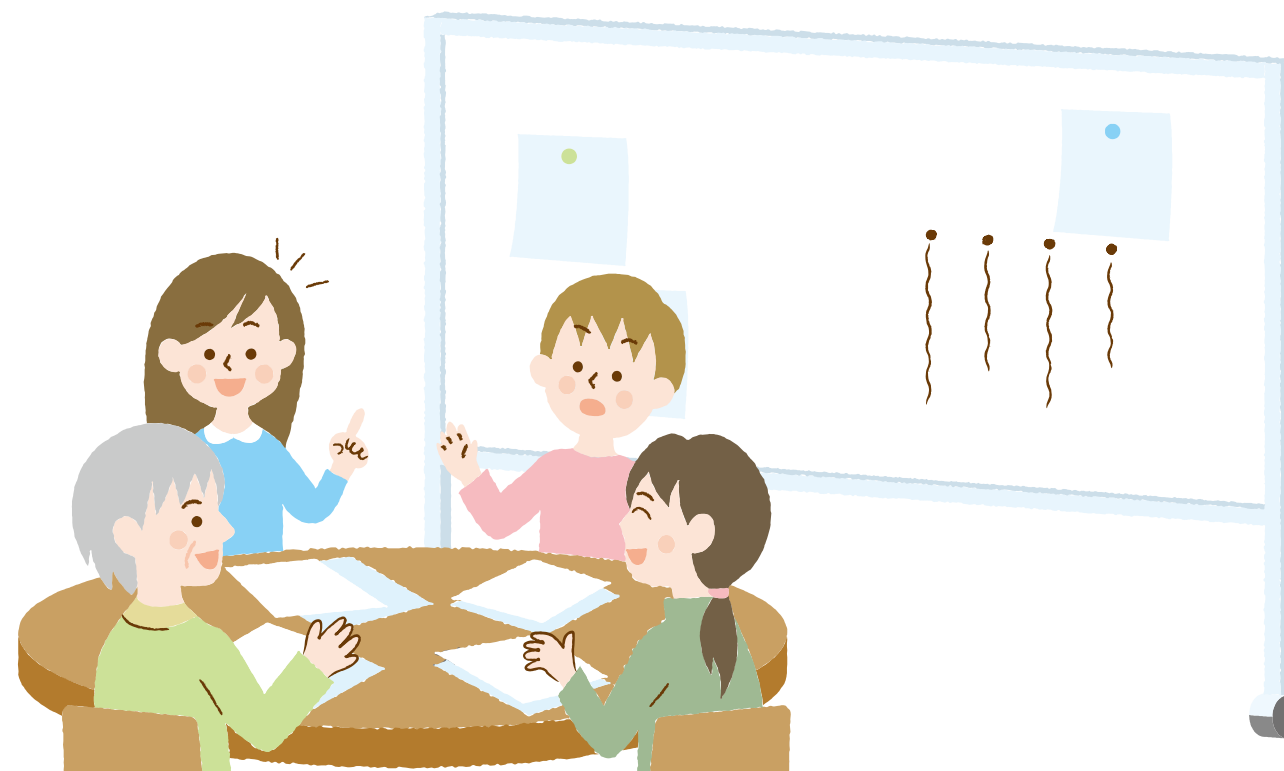
- スポーツ・おんがくなど、^{じぶん}自分がやってみたくて^{おも}思うことにさんかできます。



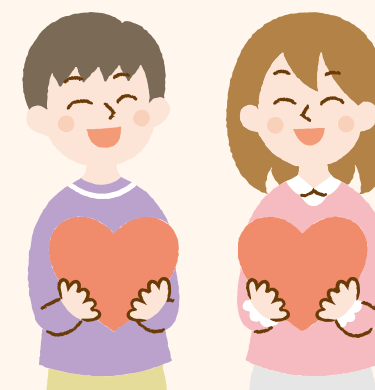
- ちいきのかつどうにさんかできます。

😊 ^{じぶん}自分のきもちでさんかするけんり

- ^{おも}思ったことや^{かん}感じたことを、まわりに^い言い、きいてもらえます。
- ^{じぶん}自分の^{おも}かんがえや^{おも}思いが、^いたいせつにされます。
- ^{じぶん}自分の^{おも}かんがえや^{おも}思いを言うために、^{ひと}まわりの^{てつだ}人に手伝ってもらえます。



こ
子どもの「けんり」は、
あなたにも、
ともだちやきょうだいなど、
ほかの^{ひと}人にもあります。
^{じぶん}自分の「けんり」と^{おな}同じように、
ほかの^{ひと}人の「けんり」も、
^{たいせつ}大切にしたいですね。



- ★ ^{おとな}大人は、^こ子どもの「^{けんり}けんり」を守って、^{みんな}みんなで^こ子どもを支えます
- ★ ^こ子どもは、^{いろいろなひと}いろいろな人にたすけてもらえます

ほごしゃ^(※)

- ^こ子どもが ^{あんしん}あんしんして ^{そだつ}そだつことができるように、^こ子どもにとって ^{いちばんいいやり方}いちばんいいやり方は何かを ^{かんがえて}かんがえて、^こ子どもを守ってそだてます。
※親及び里親その他親に代わり子どもを養育する者



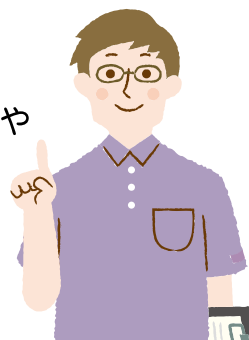
ちいきの人たち^{ひと}

- ^こ子どもとのふれあいを ^{たいせつ}大切にします。
- ^こ子どもが ^{あんぜん}あんぜんに^{あんしん}あんしんして ^{くらせるまち}くらせるまちをつくれます。



がっこう^{ひと}学校やせつの人たち

- ^こ子どもが ^{じぶん}自分から ^{すすんで}すすんで ^{まな}学び、^{そだつこと}そだつことを ^{おうえん}おうえんします。
- ^{ぎゃくたい}ぎゃくたい、^{たいばつ}たいばつ、^{いじめ}いじめなどから ^こ子どもを守るために、^{いろいろなひと}いろいろな人たちと ^{きょうりよく}きょうりよくします。
- ^こ子どもが ^{じぶん}自分の ^{かんがえ}かんがえや ^{おも}おもう ^いい ^をを ^{いう}いう ^{よう}よう ^{おうえん}おうえんします。



はたらいている人たち^{ひと}

- ^こ子どもの ^{ひと}いる人が、^{しごと}しごとの ^{じかん}じかんも、^{こそだて}こそだての ^{じかん}じかんも、^{たいせつ}大切にできるようにします。



し市

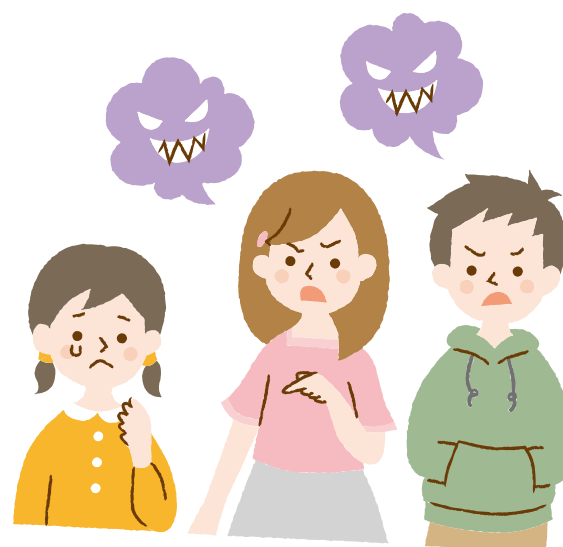
- ^{おとな}大人が ^{ちから}力を ^ああわせて、^こ子どもを ^{たいせつ}大切に ^{そだて}そだてる ^{こと}ことができるように、^こ子どもの ^{こと}ことを ^{かんがえ}かんがえ、^{いろいろなこと}いろいろな ^{こと}こと ^{にとりくみ}にとりくみます。
- ^{おとな}大人が ^{それぞれ}それぞれの ^{やくわり}やくわりを ^{はたすこと}はたす ^{こと}ことができるように ^{ささ}支えます。



^{こま}困ったときは「なごもっか」に そうだんできます

こんなことで^{こま}困ったことは
ありませんか？

「いじめられる」



「ひみつが^{まも}守られていない」



「^{やす}ゆっくり休んだり
あそんだりできない」



「^{おも}思ったことを^{じゆう}自由に^い言えない」



^{こま}困ったり、なやんだりしたときは そうだんしてみましょう。
まわりの^{ひと}の人にたすけてもらえます。

くわしくは
つぎのページ

「なごもっか」があります。「なごもっか」は、みなさんが
自分の考えや思いを言えるように話を聞き、
ともに考え、みなさんの気持ちを大切にします。



こ
どもせんよう
フリーダイヤル

0120-874-994

あ き
会いに来て、
てがみでも そうだんできます

なごやしひがしくひがしざくらいちようめ ばん ごう
名古屋市東区東桜一丁目13番3号
なごやほうそう かい
NHK名古屋放送センタービル6階



「なごもっか」子ども向けウェブサイト

はじめて「なごもっか」にそうだんする
こ らいん あ
子どもはLINEで会うやくそくができます



ファックス
FAXでも そうだんできます

052-211-8072



「なごもっか」
X(旧Twitter) アカウント
@NagomokkaNagoya



TEL:052-972-3081 FAX:052-972-4437 電子メール:a3081@kodomoseishonen.city.nagoya.lg.jp



名古屋市子ども青少年局
X(旧Twitter)アカウント
@Kodomo_Nagoya